



「笑顔とつながり」

永田台

サステイナブルスクール

No.531 年度末号
横浜市立永田台小学校
TEL(714)4277
令和2年3月25日



進んであいさつ
笑顔あふれる
住みよいまちに



今できること 今すべきこと

校長 武山 朋子

3月19日、穏やかな春の日に、105名の卒業生がここ永田台小学校を巣立っていきました。6年生にとって小学校生活最後のひと月が休業となり、仲間との別れを惜しむ時間ありませんでしたし、式に向けた練習は3月2日にたった一度だけしかできませんでした。でも、迎えた卒業式当日、名前を呼ばれ「はい」と答える声も、卒業証書を緊張した顔で受け取る姿も、自分の席に戻るまで落ち着いて歩く姿も、本当に立派で、子どもたちの中にある無限の可能性と広がる未来を感じ、胸が熱くなりました。

今年の卒業式は新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、在校生、ご来賓、そして保護者の方にも参加いただけない式でした。卒業生の寂しさや保護者の方の切なさを思うと、私たち職員一同、いたたまれない気持ちでいっぱいでした。そのため、いつもとは違う卒業式だからこそ、私たちができることを考え、心を込めて準備をし、心を込めて送り出そう、と準備をしてきました。毎年子どもたちが手作りする胸花は、職員が一つ一つ丁寧に仕上げました。階段を彩る各学年のお祝い飾りも、完成させて今年は永田台ホールに並べました。会場の体育館の床を皆で並んで雑巾で磨き、当日の入場を職員のリコーダー生演奏で迎えらるよう練習をしました。「今できること」を考え、精一杯の愛情で送り出したい、そんな思いで迎えた卒業式だったのです。

今になって思えば、全校の子どもたちが学校で過ごしていた1月に、2月に、もっといろいろなことができたのではないかと、ということは浮かんできます。でもその時には、変わらぬ日常が先にも続いていると、だれもが何も疑わずにいたはずで、思いもかけない事態に遭遇して初めて、人は日常の大切さをかみしめるのだということ、私も改めて実感しました。そして同時に、非日常の生活の中で大切なのは、その状況をしっかりと把握し、誠実に向き合いながら、今できること、今すべきことを丁寧に重ねていくことなのだ、ということも強く感じています。

先の見えない春です。不安な思いで過ごしていらっしゃる方も多いことでしょう。でも、校庭開放で学校を訪れ、元気に走り回る子どもの姿を見てると、なんだか元気が湧いてきます。この子どもたちの安心、安全を、健やかな成長を心から願い、私たち永田台小学校の職員皆で力を合わせ、これからも今できること、今すべきことに取り組んでいきます。この1年、温かいご理解とご支援をいただきました保護者の皆様、地域の皆様には心より感謝申し上げます。どうか、迎える令和2年度も、変わらぬご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

